

10 施設・設備及び情報インフラ (1)

施設・設備

1 施設・設備等

1) 大学院研究科の教育研究目的を実現するための施設・設備等諸条件の整備状況の適切性、及び、大学院専用の施設・設備の整備状況

本項目では、大学基準協会設定の中項目《施設・設備等》の「A群: 研大学院研究科の教育研究目的を実現するための施設・設備等諸条件の整備状況の適切性」・「B群: 大学院専用の施設・設備の整備状況」について、併せて点検・評価を行う。

[現状の説明]

講義室は31室あり、全て学部と共用である。演習室は1室あり、大学院専用である。自習室は5室あり、1室は専用で(大学院研究室)、残り4室は学部と共用である(第1、第2情報科学自習室、図書館グループ学習室A、B)。

[点検・評価]

平成5年大学院発足時、講義室専用3室、演習室専

用1室、自習室専用1室でスタートした。その後学生数はあまり増えないなか、講義室は共用とはいえ31室に拡大、演習室は引き続き1室とはいえ面積は約1.5倍に拡大、自習室も専用1室はほぼ面積が2倍に拡大、さらに共用ではあるが、4室が追加されその意味では、全体としてより充実した態様となっている。

[改善の方策]

今後学生数を急激に増やさないとすれば、現状でまず充分ではないかと考えられる。

2 維持管理体制

1) 施設・設備等を維持・管理するための学内的な責任体制の確立状況、及び、実験等に伴う危険防止のための安全管理・衛生管理と環境被害防止の徹底化を図る体制の確立状況

これらの項目については文学部の点検評価項目「8 施設・設備等」の中の「4 組織・管理体制」において扱う。(159頁参照)。